



# 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔米国会計基準〕(連結)

平成22年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 コナミ株式会社

コード番号 9766 URL <http://www.konami.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上月 景正

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役執行役員副社長 (氏名) 山口 憲明

TEL 03-5771-0222

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年11月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高及び営業収入		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	115,763	1.6	8,050	74.6	7,227	79.4	4,192	87.8
22年3月期第2四半期	113,914	△22.5	4,611	△79.8	4,029	△82.0	2,232	△81.3

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	31.41	31.41
22年3月期第2四半期	16.73	16.73

### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	296,618	187,332	182,570	61.6	1,367.97
22年3月期	298,198	189,231	184,465	61.9	1,382.16

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
23年3月期	—	16.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高及び営業収入		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	285,000	8.7	24,500	31.3	22,500	31.4	13,500	1.4	101.15	

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、添付資料6ページをご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	143,500,000株	22年3月期	143,500,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	10,039,519株	22年3月期	10,039,336株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	133,460,536株	22年3月期2Q	133,461,290株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予測には、本資料の発表日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予想が含まれております。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料5ページをご参照願います。

(添付資料)

【目次】

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	5
2. その他の情報 .....	6
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	6
3. 連結財務諸表等 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) セグメント情報 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ①当第2四半期連結累計期間の概況

当社グループを取り巻く経営環境は、円高の影響及び消費マインドの低下等による先行きの不透明感が続き、厳しい状況となりました。

娯楽市場（エンタテインメント）におきましては、国内外で開催されたゲーム見本市において、従来の操作方法とは異なる新たな遊び方を付加したゲーム機や3D映像技術を駆使したゲームが展示される等、新たな需要喚起に向けた取り組みが行われております。また、景気停滞の影響が顕著であったラスベガス等の観光客市場に底打ち感が出てきておりますが、大手カジノオペレーターは投資に対し慎重かつ選別的な姿勢を継続しており、今後の市場動向を一層注視してまいります。

健康市場におきましては、高齢化社会の到来と生活習慣病に対する懸念から、健康維持・増進に対する需要と関心の高まりが今後も引き続き期待されます。

このような状況のもと、当社グループのデジタルエンタテインメント事業におきましては、代表作である「メタルギア」シリーズの最新作を発売したほか、「ウイニングイレブン」（欧米名「Pro Evolution Soccer」）シリーズをマルチプラットフォームで展開し、堅調な販売を記録しました。また、恋愛コミュニケーションゲームの新作「ラブプラス+」を発売し、前作同様、社会現象ともいえる好評を博しました。

ゲーミング&システム事業におきましては、5リールメカニカルスロットマシン「Advantage5」シリーズやビデオスロットマシン「Podium」等の販売が米国市場を中心に順調に推移いたしました。

健康サービス事業におきましては、多様化するお客様のニーズにあわせ、「コナミスポーツクラブ ゴルフアカデミー」等の新たなサービスの導入、健康管理のIT化を推進し、施設内外での健康維持・増進を支援するサービスの拡充に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,157億6千3百万円（前年同期比1.6%増）となり、営業利益は80億5千万円（前年同期比74.6%増）、税引前四半期純利益は72億2千7百万円（前年同期比79.4%増）、当社株主に帰属する四半期純利益は41億9千2百万円（前年同期比87.8%増）となりました。

## ②事業の種類別セグメントの業績

事業別売上高及び営業収入（セグメント間含む）要約版

	前第2四半期 連結累計期間 (自2009年4月1日 至2009年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
デジタルエンタテインメント事業	51,419	53,135	3.3
ゲーミング&システム事業	8,896	9,264	4.1
健康サービス事業	43,375	43,842	1.1
その他の事業又は全社・消去	10,224	9,522	△6.9
連結合計	113,914	115,763	1.6

## (デジタルエンタテインメント事業)

ゲームソフトでは、PSP初の「メタルギア」シリーズの続編となる「METAL GEAR SOLID PEACE WALKER」を全世界で発売し、携帯型ゲーム機の特徴を活かした協力プレイ等が熱狂的なメタルギアファンからの熱い支持を集める等、市場でも高い評価を受け、販売が堅調に推移いたしました。また国内においては、サッカーファンが熱狂する4年に一度の祭典に合わせ、日本代表チームで世界の頂点を目指す「ジャパンチャレンジモード」を搭載した「ワールドサッカー ウイニングイレブン 2010 蒼き侍の挑戦」をマルチプラットフォームで発売し、堅調な販売を記録しました。また、恋愛コミュニケーションゲームの新作「ラブプラス+」を発売し、前作以上の初週販売本数を記録したほか、現実の「場所」

と連動した新しい遊びの提案として、ゲーム内イベントの舞台となった熱海市で「熱海ラブプラス現象(まつり)」を夏休み期間に開催し、スタンプラリーやオリジナルグッズ販売等、様々なキャンペーンを実施しました。「ラブプラス」シリーズは、ゲームの新しいスタイルを提示したその商品力を高く評価され、「第25回デジタルコンテンツグランプリ優秀賞」や「日本ゲーム大賞2010 年間作品部門優秀賞」等の賞を受賞しており、今後も新ハード「ニンテンドー3DS」向けの「Project ラブプラス for Nintendo 3DS」の発売を予定する等、コンテンツとその世界観をますます拡大してまいります。そのほか、シリーズ初となるPS3版を発売した「実況パワフルプロ野球」シリーズの最新作「実況パワフルプロ野球2010」やマルチプラットフォームで展開したリアル系プロ野球ゲーム「プロ野球スピリッツ2010」、女性ユーザー向けの学園恋愛シミュレーションゲーム「ときめきメモリアル Girl's Side 3rd Story」、新規アニメタイトル「フェアリーテイル ポータブルギルド」、フィギュアとPC用ゲームの連動で展開している「武装神姫」シリーズの世界観とキャラクターをゲーム化した「武装神姫バトルマスターズ」等、多彩なラインナップを発売いたしました。一方、海外においては、米国の肥満対策のひとつとして「DanceDanceRevolution」を活用した取り組みが拡大しており、シリーズタイトルの売上が堅調に推移したほか、欧州市場において、南米No.1のクラブチームを決定する大会「コパ・リベルタドーレス」を世界で初めて搭載したシリーズ最新作「Pro Evolution Soccer 2011」を9月に発売しました。

アミューズメント機器では、音楽シミュレーションゲーム「jubeat」シリーズの最新作「jubeat knit」、「BASEBALL HEROES」シリーズの最新作「BASEBALL HEROES 2010 WINNER」、全国オンライン対戦メダル競馬ゲーム「GI-Turf TV(ジーワン・ターフ・ティービー)」の稼働を開始いたしました。また、前期より開始した電子マネー「PASELI(パセリ)」のサービスを、「麻雀格闘倶楽部 我龍転生」や「jubeat knit」をはじめとする複数のタイトルへ拡大展開し、大きな反響をいただいております。

カードゲームでは、「遊戯王トレーディングカードゲーム」シリーズが、引き続き堅調な売上で推移いたしました。

なお、新たな取組みとして、当社グループ初の情報発信型アンテナショップ「コナミスタイル東京ミッドタウン店」を7月にオープンし、店舗でしか手に入らないオリジナル商品を販売するほか、発売前の商品をお客様に体験いただいたり、様々なイベントを実施する等、当社グループへの理解を深めていただく場を提供しております。

以上の結果、当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は531億3千5百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

#### (ゲーミング&システム事業)

北米市場におきましては、定番となった5リールメカニカルスロットマシン「Advantage5」シリーズやビデオスロットマシン「Podium」等が引き続き好評を博しているほか、パーティシペーション(オペレーターとのプロフィットシェア方式)による販売も増加し、順調に市場シェアを獲得しております。また、豪州市場におきましても、「Podium」の販売が順調に推移しているほか、欧州、中南米及びアジア市場についても代理店網整備を進め、拡販を進めております。

なお、オセアニア地域最大のゲーミング機器展示会「Australasian Gaming Expo」(8月/オーストラリア・シドニー)、中南米最大のゲーミングトレードショー「South American Gaming Suppliers Expo/SAGSE Buenos Aires」(9月/アルゼンチン・ブエノスアイレス)等、世界各地の様々な展示会に出展し、北米でも注目を集めている「Advantage5」シリーズやビデオスロットマシン「Podium」等を各市場に対応した形で幅広く披露し好評を博しました。

以上の結果、当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は92億6千4百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

#### (健康サービス事業)

景気の先行き不透明感から個人消費の抑制傾向が継続し、スポーツクラブ業界では低価格化が進むとともに施設数の増加や会員獲得における厳しい環境が続いております。

そのような状況の下、4月にオープンした新潟(新潟市)や上大岡(横浜市)において展開した特色あるプログラムをはじめ、当社グループの強みである運動指導・栄養指導・健康管理のIT化を活かしたプログラムの開発・導入を進める等、健康意識の高まるお客様に向けたサービスの提供に努めました。また、ゴルフスクールの指導内容の充実を進め、当社グループのフィットネス指導ノウハウにティーチング理論やスイング解析の最新技術を融合させた、これまでにないゴルフ指導サービス「コナミスポーツクラブ ゴルフアカデミー」を開校し、全国の支店に順次導入しご好評をいただいております。そのほか、余暇レジャーや健康医療等暮らしを豊かにする「ライフサポートサービス」、万が一の事故や怪我に備え安心して快適にご利用いただける安心補償付きプラン「安心プラス」を導入し、会員様へのサービス向

上に取り組みました。

受託施設運営では、これまで培った運営ノウハウや実績を各地域の公共施設運営に役立て、豊岡市総合健康ゾーン健康増進施設（兵庫県）や北九州市体育施設（福岡県）、高石市ふれあい健康増進センター（大阪府）等の運営を開始し、地域社会の皆様の健康増進を推進いたしました。

以上の結果、当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は438億4千2百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び株主資本の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比較して15億8千万円減少し、2,966億1千8百万円となりました。これは主として、棚卸資産が増加した一方で、現預金や売掛金が減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比較して3億1千9百万円増加し、1,092億8千6百万円となりました。これは主として、未払費用が減少した一方で、前受収益が増加したこと等によるものであります。

(株主資本)

当第2四半期連結会計期間末における株主資本合計は、前連結会計年度末に比較して18億9千5百万円減少し、1,825億7千万円となりました。これは主として、前連結会計年度に係る配当を実施したほか、為替換算調整額を含むその他の包括利益（損失）累計額が減少したこと等によるものであります。

なお、株主資本比率は、前連結会計年度末に比較して0.3ポイント減少し、61.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

	前第2四半期 連結累計期間 (自2009年4月1日 至2009年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2010年4月1日 至2010年9月30日)	増減
区 分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,206	6,099	12,305
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,265	△6,332	△3,067
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,336	△3,158	2,178
為替変動の現金及び現金同等物に対する影響額	△98	△976	△878
現金及び現金同等物の純増減(△)額	△14,905	△4,367	10,538
現金及び現金同等物の期末残高	38,663	46,373	7,710

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比較して43億6千7百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には463億7千3百万円（前年同期比19.9%増）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は、60億9千9百万円(前第2四半期連結累計期間は62億6百万円の使用)となりました。これは主として、売上債権に係る資金収支が減少した一方、前受収益の増加や仕入債務に係る資金収支が改善したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、63億3千2百万円(前年同期比93.9%増)となりました。これは主として、設備投資等の資本的支出が増加したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、31億5千8百万円(前年同期比40.8%減)となりました。これは主として、セール・アンド・リースバック取引による収入を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通し

(デジタルエンタテインメント事業)

デジタルエンタテインメントでは、海外のゲームソフト市場に引き続き注力してまいります。小島プロダクションが監修した「悪魔城ドラキュラ」シリーズの最新作「Castlevania ～Lords of Shadow～」や、「ウイニングイレブン」(欧米名「Pro Evolution Soccer」)シリーズの最新作を全世界に向けて発売してまいります。

北米及び欧州において根強い人気を維持する音楽ゲームについては、フィットネス目的での需要も高まる「DanceDanceRevolution」の最新作や、米FOX系列の大ヒットミュージカルコメディドラマ「Glee(グリー)」を題材としたカラオケゲーム「Karaoke Revolution Glee(カラオケレボリューショングリー)」、著名アーティストが所属するレコードレーベルとコラボレーションした「Def Jam Rapstar(デフ・ジャム・ラップスター)」等、多彩なラインナップを発売する予定です。

アミューズメント機器では、待望の3Dテレビを搭載した対戦ガンアクションゲーム「METAL GEAR ARCADE(メタルギア アーケード)」を発売するほか、「麻雀格闘倶楽部」、「クイズマジックアカデミー」といったシリーズタイトルに加え、メダルゲーム「GRANDCROSS CHRONICLE(グランドクロス クロニクル)」を発売する予定です。さらに、コンテンツの世界観の拡大も見据えた、ビデオゲーム「ラブプラスアーケード カラフル Clip」やメダルゲーム「ラブプラスMEDAL Happy Daily Life」の発売を予定しております。また、新たな需要喚起に向けて今春よりサービスを開始いたしました電子マネー「PASELI」については、音楽ゲームを始めとして順次対応機種を拡大し、業界を牽引する革新的なサービスの提案を行ってまいります。

なお、ネットワーク接続比率が高まるゲーム機や、携帯電話・携帯端末に向けたダウンロード販売にも注力するほか、人気コンテンツについては、ゲームソフトやアミューズメント機器、カードゲームに留まらず、多面展開しながら、高いシナジーを追求してまいります。

(ゲーミング&システム事業)

スロットマシン販売については、ステッパーでは、好評を博している5リールメカニカルスロットマシン「Advantage 5」シリーズの積極的な販売を引き続き推進してまいります。また、ビデオスロットマシンでは、前期より好評を博している「Podium」を中心に商品展開及び販売強化を行ってまいります。今後は欧州、中南米、アジア市場についてもより積極的に参入してまいります。

「コナミ・カジノ・マネジメント・システム」については、北米及び豪州市場において大手オペレーターを中心に導入が進んでおります。今後、積極的に他市場へ向けて販売を行うとともに、新機能の開発等を行いながら、商品力の強化に努めてまいります。さらに、ゲーミング市場を的確に捉えた販売形式であるパーティシペーションの拡大により定期収入を増加させ、経営の安定化を図ってまいります。

また、米国・豪州・日本の3拠点の連携をさらに強化し、経営の効率化、生産、販売の一層の強化を引き続き推進してまいります。今後も当社グループの強みであるエンタテインメント性をベースに、社会の変化や需要に対応した新商品開発や既存商品の付加価値向上に努め、お客様により一層楽しんでいただける新商品を提案してまいります。

(健康サービス事業)

健康サービスでは、多様化するお客様のニーズを的確に捉え、新たなライフスタイルの提案による「コナミスポーツクラブ」の付加価値向上を目指してまいります。また、300を超える国内最大規模のスポーツクラブを運営している強みを最大限に活用し、施設プログラムの充実・健康管理のIT化・商品拡充等の相乗効果を生み出して、健康サービス事業を推進してまいります。

市場環境は引き続き厳しい状況が続くと思われませんが、高齢化社会の到来と国家レベルでの生活習慣病対策等を背景に、社会全体における健康意識は高まっており、スポーツクラブ運営や健康機器開発・販売等の機会は今後も広がっていくと思われま

す。当社グループでは引き続き、地域特性やお客様のニーズにあわせた施設展開や商品・サービスの拡大に努めてまいります。8月には経済産業省の「2010年度医療・介護等関連分野における規制改革・産業創出調査研究事業」のうち、「医療・介護周辺サービス産業創出調査事業」に採択され、ITネットワーク技術を用いて京都・大阪地域の医療・介護機関等と連携し、医療周辺の新サービス創出にも取り組んでまいります。今後も事業環境の変化に応じて、施設内外を問わずに健康維持・増進を支援するサービスの拡充を目指してまいります。

当期の通期連結業績につきましては、売上高及び営業収入2,850億円、営業利益245億円、税引前当期純利益225億円、当社株主に帰属する当期純利益135億円と予想しており、2010年5月13日付「平成22年3月期 決算短信」において公表いたしました業績予想から変更ございません。

注意事項

本短信の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみで全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、対ドル、対ユーロをはじめとする円の為替レート等が含まれます。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計基準等の改正に伴う変更

該当事項はありません。

② ①以外の変更

該当事項はありません。

3. 連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前第2四半期 連結会計期間末 (2009年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間末 (2010年9月30日)		前連結会計年度末 (2010年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1. 現金及び現金同等物	38,663		46,373		50,740	
2. 受取手形及び売掛金(貸倒引当金控除後)－2009年9月30日、2010年9月30日及び2010年3月31日現在の貸倒引当金はそれぞれ598百万円、589百万円及び680百万円	19,903		28,300		30,164	
3. 棚卸資産	28,618		28,887		23,497	
4. 繰延税金資産	19,049		20,514		20,669	
5. 前払費用及びその他の流動資産	11,037		11,626		9,492	
流動資産合計	117,270	41.9	135,700	45.8	134,562	45.1
II 有形固定資産	60,011	21.4	61,121	20.6	62,434	20.9
III 投資及びその他の資産						
1. 市場性のある有価証券	312		192		226	
2. 関連会社に対する投資	2,116		2,097		2,146	
3. 識別可能な無形固定資産	35,782		35,145		35,246	
4. 営業権	21,885		21,853		21,899	
5. 差入保証金	27,931		27,487		27,685	
6. 繰延税金資産	3,306		3,533		3,531	
7. その他の資産	11,418		9,490		10,469	
投資及びその他の資産合計	102,750	36.7	99,797	33.6	101,202	34.0
資産合計	280,031	100.0	296,618	100.0	298,198	100.0

区分	前第2四半期 連結会計期間末 (2009年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間末 (2010年9月30日)		前連結会計年度末 (2010年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 1年内返済予定の長期借入債務及び キャピタル・リース債務	3,117		7,385		2,433	
2. 支払手形及び買掛金	12,197		15,823		16,138	
3. 未払税金	1,399		2,831		3,962	
4. 未払費用	14,442		15,289		18,568	
5. 前受収益	6,109		10,463		6,246	
6. その他の流動負債	6,469		5,786		6,118	
流動負債合計	43,733	15.6	57,577	19.4	53,465	17.9
II 固定負債						
1. 長期借入債務及びキャピタル・リース 債務(1年内返済予定分を除く)	38,315		35,886		39,885	
2. 未払退職・年金費用	2,714		2,853		2,861	
3. 繰延税金負債	5,805		4,388		4,162	
4. その他の固定負債	8,253		8,582		8,594	
固定負債合計	55,087	19.7	51,709	17.4	55,502	18.6
負債合計	98,820	35.3	109,286	36.8	108,967	36.5
(契約債務及び偶発債務)						
契約債務及び偶発債務						
(純資産の部)						
I 株主資本						
1. 資本金	47,399	16.9	47,399	16.0	47,399	15.9
普通株式—無額面： 授權株式数 450,000,000株、 発行済株式数 2009年9月30日、2010年 9月30日及び2010年3月31日現在 143,500,000株						
2. 資本剰余金	77,089	27.5	77,089	26.0	77,089	25.9
3. 利益準備金	284	0.1	284	0.1	284	0.1
4. 利益剰余金	75,576	27.0	83,644	28.2	83,055	27.9
5. その他の包括利益(損失)累計額	△794	△0.3	△2,659	△0.9	△175	△0.1
6. 自己株式—取得原価 2009年9月30日現在 10,038,735株 2010年9月30日現在 10,039,519株 2010年3月31日現在 10,039,336株	△23,187	△8.2	△23,187	△7.8	△23,187	△7.8
株主資本合計	176,367	63.0	182,570	61.6	184,465	61.9
II 非支配持分	4,844	1.7	4,762	1.6	4,766	1.6
純資産合計	181,211	64.7	187,332	63.2	189,231	63.5
負債及び純資産合計	280,031	100.0	296,618	100.0	298,198	100.0

(2) 四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期 連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)		前連結会計年度 (自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高及び営業収入						
1. 製品売上高	75,283		76,380		185,514	
2. サービス収入	38,631		39,383		76,630	
売上高及び営業収入合計	113,914	100.0	115,763	100.0	262,144	100.0
II 営業費用						
1. 製品売上原価	43,780		46,617		109,910	
2. サービス原価	37,697		38,606		75,824	
3. 販売費及び一般管理費	27,826		22,490		55,407	
4. 構造改革費用	—		—		2,339	
営業費用合計	109,303	96.0	107,713	93.1	243,480	92.9
営業利益	4,611	4.0	8,050	6.9	18,664	7.1
III その他の収益(費用)						
1. 受取利息	71		135		165	
2. 支払利息	△791		△780		△1,574	
3. 為替差損益—純額	95		△170		67	
4. その他—純額	43		△8		△200	
その他の収益(費用)—純額	△582	△0.5	△823	△0.7	△1,542	△0.6
税引前四半期(当期)純利益	4,029	3.5	7,227	6.2	17,122	6.5
IV 法人税等	1,653	1.4	3,055	2.6	3,600	1.3
V 持分法投資利益(損失)—純額	48	0.0	28	0.0	56	0.0
非支配持分控除前四半期(当期)純利益	2,424	2.1	4,200	3.6	13,578	5.2
VI 非支配持分帰属利益	192	0.1	8	0.0	264	0.1
当社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,232	2.0	4,192	3.6	13,314	5.1

(1 株当たり情報)

区分	前第2四半期 連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	前連結会計年度 (自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)
1株当たり当社株主に帰属する四半期(当期)純利益	16.73円	31.41円	99.76円
潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期(当期)純利益	16.73円	31.41円	99.76円
加重平均発行済株式数	133,461,290株	133,460,536株	133,461,138株
潜在株式調整後発行済株式数	133,461,290株	133,460,536株	133,461,138株

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	前連結会計年度 (自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
非支配持分控除前四半期(当期)純利益	2,424	4,200	13,578
営業活動によるキャッシュ・フローへの 調整項目			
減価償却費	6,260	6,294	12,899
貸倒引当金の純増減(△)	144	△116	259
構造改革費用	—	—	2,339
持分法投資損益(△)	△48	△28	△56
繰延税額	△187	129	△3,577
資産及び負債の増減			
受取手形及び売掛金の純増(△)減	7,074	1,271	△261
棚卸資産の純増(△)減	△5,524	△6,639	△2,455
未収入金の純増(△)減	△219	156	△406
前払費用の純増(△)減	△1,191	△1,301	△24
支払手形及び買掛金の純増減(△)	△2,798	△49	△949
未払税金及び未収税金の純増減(△)	△5,151	△542	△2,526
未払費用の純増減(△)	△2,802	△1,555	△262
前受収益の純増減(△)	△1,320	4,495	△1,294
前受金の純増減(△)	△267	△58	△478
預り金の純増減(△)	△576	△240	△396
その他—純額	△2,025	82	△2,094
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,206	6,099	14,297

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)	前連結会計年度 (自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
資本的支出	△2,945	△4,779	△6,318
有形固定資産の売却による収入	0	8	10
差入保証金の純増(△)減	△508	30	△374
その他－純額	188	△1,591	233
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,265	△6,332	△6,449
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
長期借入債務の返済による支出	△296	△204	△592
キャピタル・リース債務の元本返済による支出	△1,360	△1,329	△2,581
配当金の支払	△3,843	△3,600	△7,569
自己株式の取得による支出	△1	△1	△3
その他－純額	164	1,976	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,336	△3,158	△10,744
IV 為替変動の現金及び現金同等物に対する影響額	△98	△976	68
V 現金及び現金同等物の純増減(△)額	△14,905	△4,367	△2,828
VI 現金及び現金同等物の期首残高	53,568	50,740	53,568
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	38,663	46,373	50,740

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

①事業別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2009年4月1日 至 2009年9月30日)

	デジタルエンタテインメント 事業 (百万円)	ゲーミング&システム 事業 (百万円)	健康サービス 事業 (百万円)	その他又は 全社・消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	51,222	8,896	43,239	10,557	113,914
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	197	—	136	△333	—
計	51,419	8,896	43,375	10,224	113,914
営業費用	46,935	6,681	43,077	12,610	109,303
営業損益	4,484	2,215	298	△2,386	4,611

当第2四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年9月30日)

	デジタルエンタテインメント 事業 (百万円)	ゲーミング&システム 事業 (百万円)	健康サービス 事業 (百万円)	その他又は 全社・消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	52,788	9,264	43,694	10,017	115,763
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	347	—	148	△495	—
計	53,135	9,264	43,842	9,522	115,763
営業費用	48,508	6,783	43,088	9,334	107,713
営業損益	4,627	2,481	754	188	8,050

前連結会計年度 (自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)

	デジタルエンタテインメント 事業 (百万円)	ゲーミング&システム 事業 (百万円)	健康サービス 事業 (百万円)	その他又は 全社・消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	142,239	19,996	85,480	14,429	262,144
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	411	—	285	△696	—
計	142,650	19,996	85,765	13,733	262,144
営業費用	121,167	15,323	87,687	19,303	243,480
営業損益	21,483	4,673	△1,922	△5,570	18,664

1. 各事業別セグメントにおける主な事業内容は、以下のとおりであります。

- |                  |                                                             |
|------------------|-------------------------------------------------------------|
| ①デジタルエンタテインメント事業 | ゲームソフト、アミューズメント、カードゲーム、オンライン等のデジタルコンテンツ及びそれに関わる製品の制作、製造及び販売 |
| ②ゲーミング&システム事業    | カジノ施設向けゲーミング機器及びカジノマネジメントシステムの開発、製造、販売及びサービス                |
| ③健康サービス事業        | スポーツクラブ施設運営、フィットネス機器及び健康関連商品の制作、製造及び販売                      |

2. その他の項目は、報告セグメントの量的基準を満たさない事業から構成されております。

3. 全社の項目は、主に本社費用から構成されております。

4. 消去の項目は、主にセグメント間取引高消去及び棚卸資産の未実現利益消去等から構成されております。

②所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 2009年4月1日 至 2009年9月30日）

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	92,063	13,784	5,022	3,045	113,914	—	113,914
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,684	2,049	9	220	5,962	△5,962	—
計	95,747	15,833	5,031	3,265	119,876	△5,962	113,914
営業費用	92,527	13,724	6,032	3,012	115,295	△5,992	109,303
営業損益	3,220	2,109	△1,001	253	4,581	30	4,611

当第2四半期連結累計期間（自 2010年4月1日 至 2010年9月30日）

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	92,782	14,258	5,189	3,534	115,763	—	115,763
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,682	627	1,231	254	7,794	△7,794	—
計	98,464	14,885	6,420	3,788	123,557	△7,794	115,763
営業費用	93,834	12,426	5,894	3,214	115,368	△7,655	107,713
営業損益	4,630	2,459	526	574	8,189	△139	8,050

前連結会計年度（自 2009年4月1日 至 2010年3月31日）

	日本 (百万円)	米国 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	計 (百万円)	消去 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	198,500	33,743	23,682	6,219	262,144	—	262,144
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,272	3,805	89	669	18,835	△18,835	—
計	212,772	37,548	23,771	6,888	280,979	△18,835	262,144
営業費用	199,427	33,845	22,598	6,560	262,430	△18,950	243,480
営業損益	13,345	3,703	1,173	328	18,549	115	18,664

外部顧客に対する売上高については、当社及び子会社が製品の販売もしくはサービスを行っている場所に基づいてそれぞれの地域を決定しております。

(注記)

この連結財務諸表は、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づいて作成しております。